

事業概要シート

施策	1306	水産業の振興	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	大村地区漁港施設整備事業	現状維持	予算額	102,100	千円
事業期間	令和6年度	～	≪≫	78,387	千円
根拠法令 要綱等	漁港及び漁場の整備等に関する法律	財源内訳	国庫支出金	50,750	千円
			県支出金	17,762	千円
			地方債	11,400	千円
			その他		千円
			一般財源	22,188	千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

本事業を行うことにより台風などによる多大な被害を防止し、漁港施設の保全や漁港の安全・安心、漁業活動の機能向上を図り、その土地・財産を守る。

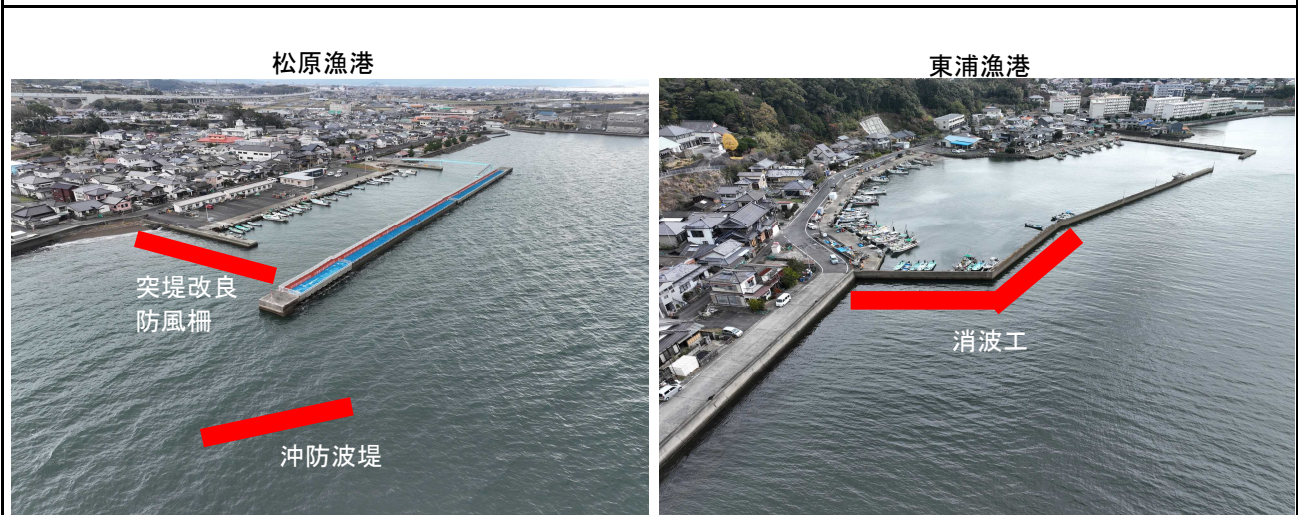
【概要】

漁港及び漁港施設において、外郭施設や係留施設など施設整備に必要な基本計画の策定、実施設計、工事などの事業を行う。

【対象】

東浦漁港、松原漁港

両漁港において、漁港泊地内に漁船を係留しているが、近年の異常気象で、多大な被害が及ばないように、漁港から離れた安全な避難場所へ回避している状況である。このため、湾内の静穏度を抑え、漁船の安全を確保する基本計画を策定し、防波堤などの整備を行い、漁業活動の利便性、漁港施設の保全や漁港の安全・安心を図る。



スケジュール R4：漁港施設整備計画策定業務（済）
 R5：県の関係者会議（済）※事業計画の承認済み（事業採択）
 R6以降：国の補助事業として測量・設計等及び工事の実施。※R6現在、測量・地質調査実施中
 R10：事業（工事）終了（予定）

【背景】

近年の異常気象で、漁港施設に停泊する漁船に多大な被害が及ぶのではないかと漁業者に不安を与えている状況である。

担当課	産業振興部 農林水産整備課	課長	山本 雅喜
担当者	坂野 正多	問合せ先	0957-53-4111(内線265)

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	計画及び工事箇所数	計画値	箇所		2			
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	施設対策箇所数	計画値	箇所					
②		計画値						

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	0	0	78,387	102,100	173,966	173,966	528,419
国庫支出金			38,000	50,750	86,980	86,980	262,710
県支出金			13,300	17,762	30,440	30,440	91,942
地方債				11,400	50,890	50,890	113,180
その他							0
一般財源			27,087	22,188	5,656	5,656	60,587
人件費	0	0	4,469	4,469	4,469	4,469	17,878
職員(人)			0.52人	0.52人	0.52人	0.52人	2.08人
時間外勤務(h)			344h	344h	344h	344h	1376h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	82,856	106,569	178,435	178,435	546,297

妥当性 (市の関与)	漁港管理者の責任において、漁港施設整備を実施する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	本事業を行うことで、漁港利用の安全・安心を図り、その土地・財産を守ることとなり、施策貢献度は高い。
効率性 (コスト)	基本計画策定時は、専門業者に委託し、漁業関係者との調整を図り効率性を求め実施する。実施設計及び工事においては、国及び県の補助を受け効率性の実施に努める。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり